

分析結果報告書〔5〕 1 / 2

1. 5 水質試料 (pH)

| | |
|-------------------------|--|
| 機関コード | |
| 機関名 | |
| 電話番号 | |
| 国際的な認証等の取得 (複数回答可) | 1. ISO 9001~9003 2. ISO/IEC 17025(かゝどゝ25) 3. MLAP 4. 環境省が実施するダイオキシン類の請負調査の受注資格 5. (上記1~4を取得していないが)品質マネジメントシステム(QMS)を構築している |
| 分析主担当者名 | |
| 分析主担当者の経験年数 | () 年 |
| 分析主担当者の実績 (年間の分析試料数) | () |
| 分析(主)担当者以外の分析結果の確認 | 1. あり 2. なし |

<分析結果>

| | |
|-----|---------------|
| 回数 | 分析結果 (pH) 注1) |
| 1回目 | |
| 2回目 | |
| 3回目 | |

注1) 共通試料1(模擬水質試料1)を用いて(希釈しないで)pHを測定した値を記入する。

(COD等他の項目は共通試料1を水で20倍希釈して調製した分析用試料を用いるが、pHは異なるので注意する)。

記入にあたっては、記入間違いや単位間違い等がないように注意する。

分析結果 (pH) は、有効数字3桁で記入する。

<分析方法等>

| | |
|--------|------------------------------------|
| 分析開始月日 | 月 日 |
| 分析終了月日 | 月 日 |
| 分析方法 | 1. ガラス電極法 2. その他 () |
| 使用した水 | 1. 蒸留水 2. イオン交換水 3. 超純水 4. その他 () |

<pH計>

| | | |
|---------------|---|---|
| 種類(使用目的による区分) | 1. 携帯用 2. 卓上用 3. 定置用 4. その他 () | |
| 形式(試験目的による区分) | 1. O形(繰返し性±0.005) 2. I形(繰返し性±0.02) 3. II形(繰返し性±0.05) 4. III形(繰返し性±0.1) 5. その他 () | |
| 検出部 | メーカー、型式 | メーカー () 型式 () |
| | 構造 | 1. ガラス電極・比較電極に温度補償用感度素子を含む 2. ガラス電極・比較電極(温度補償用感度素子を含まない) 3. その他 () |
| | 検定 | 1. 検定済みであり、検定有効期間内である 2. 検定済みであるが、検定有効期間を超えている 3. 検定を受けていない 4. その他 () |
| 増幅・指示部 | メーカー、型式 | メーカー () 型式 () |
| | 指示方式 | 1. アナログ式 2. デジタル式 3. 両方を用いるもの(アナログ式、デジタル式) 4. その他 () |
| | 検定 | 1. 検定済みであり、検定有効期間内である 2. 検定済みであるが、検定有効期間を超えている 3. 検定を受けていない 4. その他 () |

分析結果報告書〔5〕 2 / 2

<校正等>

| | | | |
|-----------------|-----|----------------|---|
| ゼロ校正 | 標準液 | 種類 調製方法 | 1. 中性リン酸塩標準液 2. その他 () |
| | 校正 | 標準液の温度 pH調節 | 1. 自作(調製したpH標準液) 2. 購入(pH標準液の第2種) 3. その他 () ()℃ 合わせたpHの値 () |
| スパン校正 | 標準液 | 種類 調製方法 | 1. シュウ酸塩標準液 2. フタル酸塩標準液 3. ほう酸塩標準液 4. 炭酸塩標準液 5. その他 () |
| | 校正 | 標準液の温度 pH調節 | 1. 自作(調製したpH標準液) 2. 購入(pH標準液の第2種) 3. その他 () ()℃ 合わせたpHの値 () |
| ゼロ・スパン校正の繰り返し回数 | | | ()回 |

<測定>

| | | |
|------------------|-----|-----------------------|
| pH測定までの時間 | 注2) | 試料に検出部を浸し、()分後に測定を開始 |
| pH測定終了までの時間 | 注2) | 試料に検出部を浸し、()分後に測定を終了 |
| 試料の温度 (pH測定時の水温) | | ()℃ |

注2) 時間は分単位で概略値を記入する (例えば、約15秒後では0.25分間とする)。

<試料の保存状況>

| | | | |
|------|-------|-----|-------------------------------------|
| 保存状況 | 保存方法等 | 注3) | 1. 冷蔵所保存 2. 保存しない(直ちに分析) 3. その他 () |
| | 保存時間 | | 約()時間 |
| | 保存温度 | | 約()℃ |

注3) 時間単位で記入する (例えば、60分では1時間とする)。

| | |
|--------------------------|--|
| 分析実施にあたっての留意した点及び問題と感じた点 | |
|--------------------------|--|